

2019-2020 FIM 世界耐久選手権 最終戦

鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 43 回大会 参加チーム選考方法

鈴鹿 8 耐第 43 回大会では、チームが出場権を獲得するために 3 つの方法を使用することができる。ただし、FIM 世界耐久選手権プロモーターの Eurosport Events と 2019 – 2020 シーズン全戦に参加することを誓約しているチーム（契約チーム）は、以下の条件に関係なく鈴鹿 8 耐 第 43 回大会に出場することができる。

第 1 条 優先出場権（シード権）

鈴鹿 8 耐 第 42 回大会において定められた条件を満たしたチームに対し、組織委員会は鈴鹿 8 耐 第 43 回大会の優先出場権（シード権）を与える。

1-1 ライダーカテゴリーゼーション

鈴鹿 8 耐 第 42 回大会（2019 年）に出場するチームに登録されたライダーは、そのライダーの実績に応じて 2 つのカテゴリーに分類される。

1-1-1 カテゴリー I

以下の基準のうち少なくとも 1 つを満たすライダー

- 2018 年 1 月 1 日以降に FIM Grand Prix World Championship MotoGP Class に 1 大会以上参戦経験があるライダー。
- 2019 FIM Grand Prix World Championships Moto2 Class に年間参戦し、かつ 2019 年 7 月 8 日時点でランキング 10 位以内のライダー。
- 2019 FIM Superbike World Championship に年間参加し、かつ 2019 年 7 月 8 日時点でランキング 15 位以内のライダー。
- 2019 British Superbike Championship に年間参戦し、かつ 2019 年 7 月 8 日時点でランキング 10 位以内のライダー。
- 2019 All Japan Road Race Championship JSB1000 Class に年間参戦し、かつ 2019 年 7 月 8 日時点でランキング 10 位以内のライダー。
- 2019 Asia Road Racing Championship ASB1000 Class または SS600 Class に年間参戦し、かつ 2019 年 7 月 8 日時点でランキング 5 位以内のライダー。
- 上記 6 項目の何れかに相当する実績を持つと組織委員会から判断されたライダー。

1-1-2 カテゴリー II

以下の基準のうち少なくとも 1 つを満たすライダー

- 2019 FIM Grand Prix World Championships Moto2 Class に年間参戦するライダー。
- 2019 FIM Superbike World Championship に年間参加するライダー。
- 2019 British Superbike Championship に年間参戦し、かつ 2019 年 7 月 8 日時点でランキング 11 ~20 位以内のライダー。
- 2019 All Japan Road Race Championship JSB1000 Class に年間参戦し、かつ 2019 年 7 月 8 日時点でランキング 11~20 位以内のライダー。
- 2019 Asia Road Racing Championship ASB1000 Class または SS600 Class に年間参戦し、かつ 2019 年 7 月 8 日時点でランキング 6~15 位以内のライダー。
- 上記 5 項目の何れかに相当する実績を持つと組織委員会から判断されたライダー。

1-2 ポイント

カテゴリー I に分類されたライダー1 名につき「5 ポイント」、カテゴリー II に分類されたライダー1 名につき「3 ポイント」が、そのライダーを登録するチームに与えられる。

大会事務局は、鈴鹿 8 耐 第 42 回大会の選手受付終了後から公式予選開始までの間に発行されるエントリーリストを参考に各ライダーの分類を決定する。

例 1 : Team A

Rider Name	Categorization	Point
Rider A	Category I	5
Rider B	Category I	5
Rider C	Category II	3
Total		13

例 2 : Team B

Rider Name	Categorization	Point
Rider D	Category II	3
Rider E	Category II	3
Rider F	分類なし	0
Total		6

1-3 合計ポイントによるチームの区分

与えられた合計ポイントが「8 ポイント以上」となった場合、そのチームは「プレミアチーム」に区分される。与えられた合計ポイントが「7 ポイント以下」となった場合、そのチームは「チャレンジャーチーム」に区分される。

1-4 シード権の獲得条件

下に該当するチームは、鈴鹿 8 耐 第 43 回大会のシード権を獲得することができる

- 「プレミアチーム」の内、鈴鹿 8 耐 第 42 回大会 決勝レース結果最上位チーム。
- 「チャレンジャーチーム」の内、鈴鹿 8 耐 第 42 回大会 決勝レース結果上位 5 チーム。

1-5 シード権の行使

シード権を持つチームは、2020 年 2 月 25 日（月）から 2020 年 3 月 13 日（金）の間に、シード権を行使して鈴鹿 8 耐 第 43 回大会に仮エントリーすることができる。仮エントリーをする場合、各チームは必要事項を記入したエントリー用紙と参加保証金（¥110,000）を提出しなければならない。支払われた参加保証金は、各チームが鈴鹿 8 耐 第 43 回大会へ正式にエントリーした場合に全額返金される。正式にエントリーしなかった場合、支払われた参加保証金は返金されない。

シード権を持つチームが期間内に仮エントリーを行わなかった場合、シード権を放棄したものと見なす。放棄されたシード権は、他のシード権を持たないチームへ譲渡することや引き継ぐことはできない。

第 2 条 選考レース

対象となる選考レースに出場し、かつ各選考レースにおける選考条件を満たすチームに対し、組織委員会は鈴鹿 8 耐 第 43 回大会の出場権を与える。

2-1 選考レース 1st ステージ

2-1-1 対象レース

FIM EWC 8 Hours of Sepang（2019 年 12 月, Sepang International Circuit, マレーシア）

2-1-2 選考条件

出場チームの内、決勝レース上位 20 チーム※1

- Formula EWC クラスの東南アジアチームの内、決勝レース上位 3 チーム※2
- Super Stock クラスの東南アジアチームの内、決勝レース上位 3 チーム※2

※1 トップのチームが走行した周回数の 85%以上の周回数を走行しなければならない。

※2 チームの国籍は、各チームの FIM ライセンスを発行した FMN が所在する国とする。

2-1-3 仮エントリー

選考レース 1st ステージ（以下 1st ステージ）にて出場権を獲得したチームは、2020 年 2 月 25 日（月）から 2020 年 3 月 13 日（金）に、鈴鹿 8 耐 第 43 回大会に仮エントリーすることができる。仮エントリーをする場合、各チームは必要事項を記入したエントリー用紙と参加保証金（¥110,000）を提出しなければならない。支払われた参加保証金は、各チームが鈴鹿 8 耐 第 43 回大会へ正式にエントリーした場合に全額返金される。正式にエントリーしなかった場合、支払われた参加保証金は返金されない。

1st ステージにて出場権を獲得したチームが期間内に仮エントリーを行わなかった場合、出場権を放棄したものと見なす。放棄された出場権は、他の出場権を持たないチームへ譲渡することや引き継ぐことはできない。

2-2 選考レース 2nd ステージ

2-2-1 対象レース

2020 鈴鹿 2&4 レース（2020 年 4 月、鈴鹿サーキット、日本）

2-2-2 選考条件

選考条件は、レース開催の 3 週間前までに大会事務局より発表する。

2-3 選考レース FINAL ステージ

2-3-1 対象レース

2020 鈴鹿サンデーロードレース JSB1000 クラス（2020 年 5 月、鈴鹿サーキット、日本）

2-3-2 選考条件

選考条件は、レース開催の 3 週間前までに大会事務局より発表する。

第 3 条 選考委員会による推薦

株式会社モビリティランドと Eurosport Events による「選考委員会」を設置する。この選考委員会によって推薦された最大 5 チームに対し、組織委員会は鈴鹿 8 耐 第 43 回大会の出場権を与える「選考委員会は、日本で行われる最後の選考レース終了後の 2020 年 5 月に開催するものとする。なお選考委員会における最終決定権利は株式会社モビリティランドが有する。